

福島工業高等専門学校	開講年度	平成31年度(2019年度)	授業科目	世界史Ⅱ
科目基礎情報				
科目番号	0037	科目区分	専門 / 必修	
授業形態	講義・演習	単位の種別と単位数	履修単位: 1	
開設学科	ビジネスコミュニケーション学科	対象学年	2	
開設期	後期	週時間数	2	
教科書/教材	山川出版『詳説世界史』			
担当教員	田渕 義英			
到達目標				
①歴史を学ぶ意義について理解している。 ②古代から現代までの基礎的な歴史的事実を理解している。 ③歴史を知識ではなく解釈として理解することが出来る。 ④現代社会を理解するためのコンテクストとして歴史を活用することが出来る。				
ループリック				
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安	
評価項目1	各授業項目の内容を理解し、応用できる。	各授業項目の内容を理解している。	各授業項目の内容を理解していない。	
学科の到達目標項目との関係				
学習・教育到達度目標 (A)				
教育方法等				
概要	古代から現代までを地域的なまとまりのなかで通史として理解し、現代社会の「コンテクスト」として世界史を活用することが出来る能力を養う。			
授業の進め方・方法	定期試験60%、課題40%で総合的に評価し、60点以上を合格とする。課題は、毎回該当範囲の「詳説世界史学習ノート」に取り組み、指定された期日に提出することとする。			
注意点	課題は上記以外にも適宜課すことがある。 講義の進捗によってテスト範囲がシラバスとずれることがあるので事前によく確認すること。			
授業計画				
	週	授業内容	週ごとの到達目標	
後期	3rdQ	1週	大航海時代からウェストファリア体制による主権国家体制の確立までを、地域世界の結びつきが強まる「世界の一体化」のプロセスとして理解する	
		2週	大航海時代からウェストファリア体制による主権国家体制の確立までを、地域世界の結びつきが強まる「世界の一体化」のプロセスとして理解する	
		3週	大航海時代からウェストファリア体制による主権国家体制の確立までを、地域世界の結びつきが強まる「世界の一体化」のプロセスとして理解する	
		4週	ふたつの政治革命と産業革命を経て世界の一体化が加速し、ウィーン体制によって主権国家体制から国民国家体制へと世界秩序が変化していくことを理解する	
		5週	ふたつの政治革命と産業革命を経て世界の一体化が加速し、ウィーン体制によって主権国家体制から国民国家体制へと世界秩序が変化していくことを理解する	
		6週	ふたつの政治革命と産業革命を経て世界の一体化が加速し、ウィーン体制によって主権国家体制から国民国家体制へと世界秩序が変化していくことを理解する	
		7週	前半の総括	
		8週	帝国主義の拡大とふたつの世界大戦をとおして、世界が巨大なリスクを共有する新たな段階に入ったことを理解する	
後期	4thQ	9週	帝国主義の拡大とふたつの世界大戦をとおして、世界が巨大なリスクを共有する新たな段階に入ったことを理解する	
		10週	帝国主義の拡大とふたつの世界大戦をとおして、世界が巨大なリスクを共有する新たな段階に入ったことを理解する	
		11週	大航海時代から第二次世界大戦までの東アジアの歴史を、既習の世界の一体化とリスク社会化の流れの中で理解する	
		12週	大航海時代から第二次世界大戦までの東アジアの歴史を、既習の世界の一体化とリスク社会化の流れの中で理解する	
		13週	新しい世界秩序の形成と世界の多様化、それにともなう新たな問題群の発生とそれらを解決するための努力について理解する	
		14週	新しい世界秩序の形成と世界の多様化、それにともなう新たな問題群の発生とそれらを解決するための努力について理解する	
		15週	総括	
		16週	後期末試験解答用紙の返却と解説	
モデルカリキュラムの学習内容と到達目標				
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル 授業週
評価割合				

	試験	課題	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	60	40	0	0	0	0	100
基礎的能力	60	40	0	0	0	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0